

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 5月 31日

茨城県知事

殿



提出者

住 所 茨城県小美玉市小岩戸 1720-4  
氏 名 タカノフーズ茨城株式会社  
代表取締役 高野 成徳  
電話番号 0299-48-4411

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成29年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	タカノフーズ茨城株式会社 筑波工場
事業場の所在地	茨城県小美玉市小岩戸 1720-4
事業の種類	0993 食料品製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙の通り	全処理委託量	別紙の通り
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙の通り	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙の通り
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

## (第2面)

(産業廃棄物の種類:汚泥(1))

## 計画の実施状況

有償物量
------

不要物等発生量
---------

自ら再生直接量
---------

排出量
-----

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
---------------------

項目	実績値
① 出量	23,512.16
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	21,832.72
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑪処理委託量	1,679.44
⑫優良認定処理業者への処理委託量	
⑬再生利用業者への処理委託量	1,679.44
⑭熱回収認定業者への処理委託量	
⑮熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した後再生利用した量
------------------

⑩のうち再生利用率 業者への処理委託量	
⑫	1679.44

自ら中間処理した後自ら海浜投入処分した量
----------------------

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	
⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	

自ら中間処理した後の残さ量
---------------

自ら中間処理により減量した量
----------------

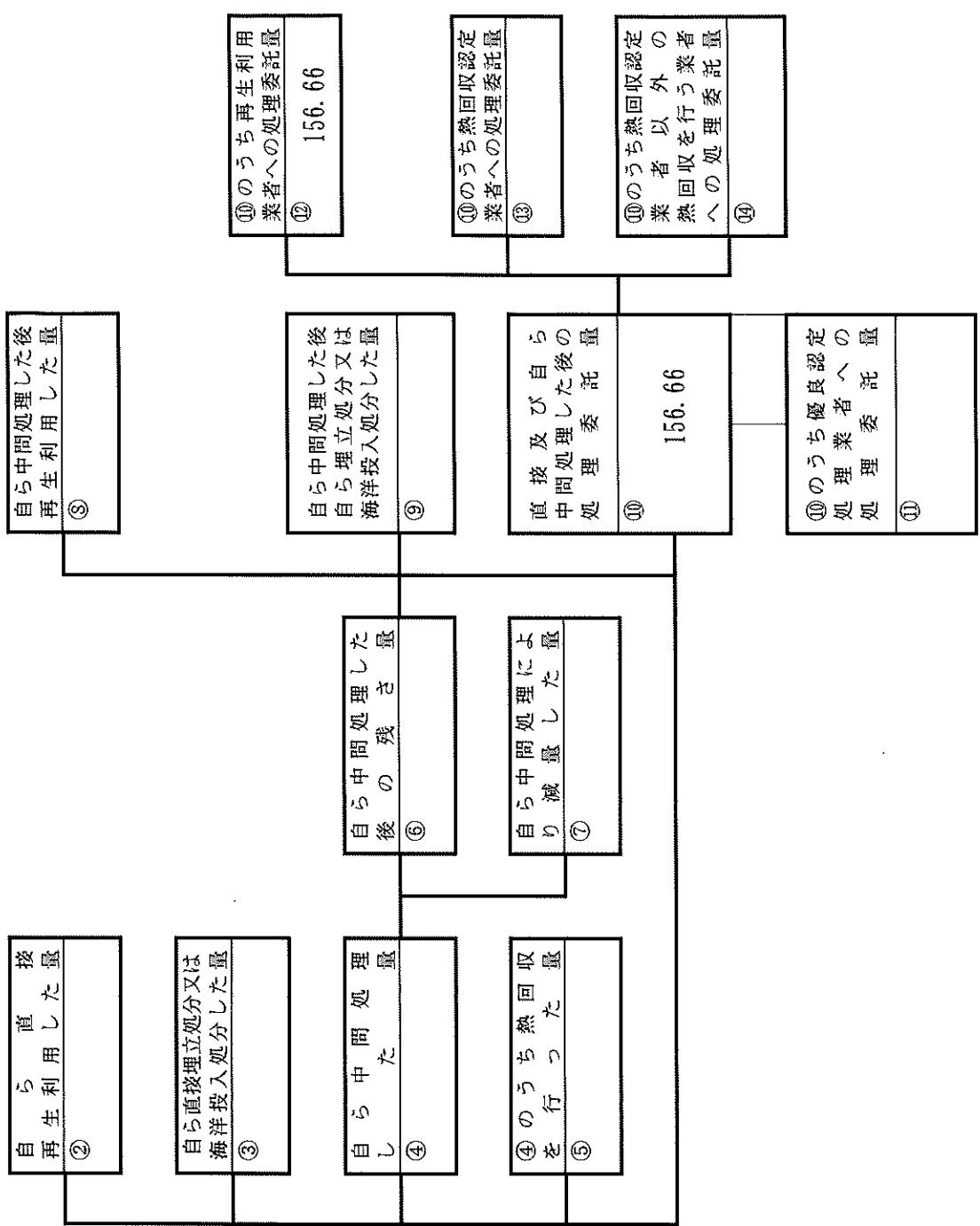
自ら中間処理委託量
-----------

1679.44
---------

⑪のうち優良認定処理業者への委託量	
⑫	

## (産業廃棄物の種類：動植物性残渣(t))

計画の実施状況	
項目	実績値
① 出量	156.66
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	
⑤ 自ら熱回収を行った量	
⑦ 自ら中間処理により減量した量	
③ + ⑨ 自ら埋立処分を行った量	
⑩ 全処理委託量	156.66
⑪ 慎良認定処理業者への処理委託量	
⑫ 再生利用業者への処理委託量	156.66
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	
⑭ 热回収認定業者以外の热回収を行う業者への処理委託量	



## (産業廃棄物の種類: 廃プラ(t))

## 計画の実施状況

有機物量

不要物等発生量

自ら再生利用した量  
②

排出量  
① 41.44

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
③

項目	実績値
① 出量	41.44
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑥自ら中間処理した後 の残さ量	⑥
④のうち熱回収を行った量 ⑤	
⑦自ら中間処理により減量 した量	
⑧自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量	
⑪全処理委託量	41.44
⑫優良認定処理業者への処 理委託量	
⑬再生利用業者への処理委 託量	41.44
⑭熱回収認定業者への処理委 託量	
⑮熱回収認定業者以外の熱 回収を行う業者への処理委 託量	

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
③

⑪のうち再生利用  
業者への処理委託量  
⑫ 41.44

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑨

⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
⑬

⑪のうち熱回収認定  
業者以外の熱  
回収を行う業者への処理委  
託量  
⑭

⑪のうち優良認定  
業者への処理委  
託量  
⑯

(第2面)

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物(t))

)

計画の実施状況

有償物量	
排出量	① 4.6

不要物等発生量

自ら再生利用した量  
②

項目 実績値  
② 出量 4.6  
②+③自ら再生利用を行った量  
⑤自ら熱回収を行った量  
⑦自ら中間処理により減量した量  
⑨自ら埋立処分又は海上投入処分を行った量  
⑪全処理委託量  
⑫優良認定処理業者への処理委託量  
⑬再生利用業者への処理委託量  
⑭燃回収認定業者への処理委託量  
⑮燃回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

自ら中間処理した後再生利用した量  
⑤

自ら直接埋立処分又は海上投入処分した量  
③

項目 実績値  
④ 自ら中間処理した後の中間処理に由り減量した量  
⑥ 自ら中間処理した後の中間処理に由り減量した量  
⑧ 自ら中間処理した後の中間処理に由り減量した量  
⑩ 自ら中間処理した後の中間処理に由り減量した量  
⑫ 4.6  
⑪ 4.6  
⑬ 4.6  
⑭ 4.6  
⑮ 4.6

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海上投入処分した量  
⑨

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬

⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭

⑪のうち優良認定の処理業者への処理委託量  
⑯

## (産業廃棄物の種類: 廃油(t))

)

## 計画の実施状況

有償物量
------

不要物等発生量

自ら再生直した量  
②排出量  
① 7.75自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
③項目 実績値  
③ 出量 7.75  
②+⑧自ら再生利用を行った量  
⑤自ら熱回収を行った量  
⑦自ら中間処理により減量  
した量  
③+⑨自ら埋立処分又は海  
洋投入処分を行った量  
⑪全処理委託量  
7.75

①優良認定処理業者への処理委託量	
②再生利用業者への処理委託量	7.75
③熱回収認定業者への処理委託量	
④熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
⑤⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量  
⑫ 7.75自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑨⑪のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
⑬直接及び自ら  
中間処理した後の  
量  
⑩⑫のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量  
⑭⑪のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量  
⑯

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

令和5年度 産業廃棄物処理計画における目標値

産業廃棄物の種類	汚泥(t)	動植物性残渣(t)	廃プラ(t)	混合廃棄物(t)	廃油(t)	合計(t)
排出量	27,000	240	50	5	2	27,297
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	25,000					25,000
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
全処理委託量	2,000	240	50	5	2	2,297
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	2,000	240	50	2	2	2,297
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						

## 別紙

## 令和5年度 産業廃棄物処理 実施状況(まとめ)

産業廃棄物の種類	汚泥(t)	動植物性残渣(t)	廃プラ(t)	混合廃棄物(t)	廃油(t)	合計(t)
排出量	23,512.16	156.66	41.44	4.6	7.75	23,722.61
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	21,832.72					21,832.72
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
全処理委託量	1679.44	156.66	41.44	4.6	7.75	1,889.89
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	1679.44	156.66	41.44	4.6	7.75	1,899.89
認定熱回収業者へ						

の処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						